

2017年度 学校関係者評価シート

(1)教育理念・目標		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④	3	2	1	広島YMCA専門学校2016～2020の新中期計画において示された学校改革ビジョン、学校経営計画、および、日本YMCAのブランドコンセプト「みつかる、つなぐ、よくなる」をすべての教職員が共有し実行してほしい。	
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1		
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1		
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	④	3	2	1		
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1		

(2)学校運営		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	校長を中心とした責任ある学校運営・意思決定は機能している。2010年度の学校統合後の残滓があったが、解消した。また、業界や地域社会との連携を図りながら学校運営に関する評価につなげることを期待する。	
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1		
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1		
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1		
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1		
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1		
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1		
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1		

(3)教育活動	自己評価				学校関係者評価委員会評価
	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1	
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	関連分野における業界、団体との連携をより密にして、教員の研修体制を築いてほしい。優れた実務家教員の養成により充実した教育内容を提供してもらいたい。
教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④	3	2	1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④	3	2	1	
関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携によりカリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	
授業評価の実施評価体制はあるか	④	3	2	1	
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	

(4) 学修成果	自己評価				学校関係者評価委員会評価
	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1	
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	就職内定率は、医療事務科80%、ホスピタリティ科100%、社会体育科100%ではあるが、業界内定率は3学科とも80%台である。これからも学んだことが活かせる就職先へ送り出す努力を続けて欲しい。また、卒業生に関する就職後の追跡調査が十分とはいえない。この点に関しては見直しをお願いしたい。
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1	

(5) 学生支援		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
進路就職に関する支援体制は整備されているか		④	3	2	1	スクールカウンセラーを配置するなど悩みを抱えた生徒の救済を目指している点は評価に値する。今後、社会人の受け入れ環境の整備と高等学校との連携を深めることに期待をしたい。
学生相談に関する体制は整備されているか		④	3	2	1	
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか		④	3	2	1	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか		4	③	2	1	
課外活動に対する支援体制は整備されているか		④	3	2	1	
学生の生活環境への支援は行われているか		④	3	2	1	
保護者と適切に連携しているか		④	3	2	1	
卒業生への支援体制はあるか		④	3	2	1	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		4	③	2	1	
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか		4	③	2	1	

(6) 教育環境		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか		④	3	2	1	専門教育を行う施設、設備は基本的に整っている。また、生徒のニーズと学習効果を考慮した研修やインターンシップ先を確保していることが認められる。
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		④	3	2	1	
防災に対する体制は整備されているか		④	3	2	1	

(7) 学生の受け入れ募集		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
学生募集活動は,適正に行われているか		④	3	2	1	独自の奨学生制度に加え、国の修学支援制度も取り入れたり、学費分割納入制度を導入するなど、学びたい生徒の負担を軽減する制度を整えている点は評価できる。
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか		④	3	2	1	
学納金は妥当なものとなっているか		④	3	2	1	

(8) 財務		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		④	3	2	1	言語コミュニケーション科の留学生が増加しており、現在のところ良好な財務状況と言えるが、社会情勢のよって影響を受ける可能性が高いことから、それ以外の学科での生徒確保も必要と考えられる。
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		④	3	2	1	
財務について会計監査が適正に行われているか		④	3	2	1	
財務情報公開の体制整備はできているか		4	③	2	1	

(9) 法令遵守		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		④	3	2	1	各種法令の順守、個人情報保護に関しても対策が取られている。学校関係者評価委員会以外にも、今後は第三者評価に向けた取り組みが必要と思われる。
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか		④	3	2	1	
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		④	3	2	1	
自己評価結果を公開しているか		④	3	2	1	

(10) 社会貢献・地域貢献		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか		4	③	2	1	人格形成のための教育はこれからを担う若者にとっては重要な位置を占める。特に広島YMCAのGCC(global community center)が行う災害被災地支援、国際交流プログラムなどに参加することは人間力育成には欠かせないものであり、他の専門学校にはない教育活動である。今後とも継続的に参加を促してほしい。
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか		④	3	2	1	
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか		④	3	2	1	

(11) 国際交流(必要に応じて)		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4	ほぼ適切…3, やや不適切…2	不適切…1		
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか		④	3	2	1	ホスピタリティ科の生徒による海外提携校(イギリス)での現地研修をはじめとして、広島YMCAの国際交流プログラム、学内の留学生との交流プログラムも頻繁に行われている。これらのプログラムを積極的に実施し、多数の生徒に貴重な国際交流の場を提供してほしい。
受入れ派遣,在席管理等において適切な手続き等がとられているか		④	3	2	1	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか		④	3	2	1	
学内で適切な体制が整備されているか		④	3	2	1	